

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	新家日置荘線(延伸)				シート番号	019-046
担当部署名	建設	局	道路	部	道路計画	課 評価責任者(課長名) 柿本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	有
	2	事業開始年度	平成 12 年度		終了(予定)年度	令和 3 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	都市計画法、道路法			
	4	関連計画	堺市都市計画道路整備プログラム、堺市都市計画マスタープラン、堺市地域防災計画、震災に強いまちづくり基本計画、堺市緑の基本計画			
5	事業実施の経緯	現在、初芝駅には駅前広場が駅東側にしかなく駅利用者の交通が集中し、周辺地域において交通混雑を起している。また、地域防災上、避難路として安全・防災等に関する機能を果たすものであり、早期の整備が必要である。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	道路利用者・災害時における避難者・被災者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	国道310号と南海高野線初芝駅を東西に結び、駅西側に駅前広場を設けることで、駅西周辺地区から駅へのアクセスの向上を図り、現在、初芝駅東側に集中している駅利用者の交通混雑を緩和する。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	都市計画決定: 昭和40年7月29日 事業認可: 平成13年2月9日～令和4年3月31日 事業区間: 東区野尻町～東区日置荘西町 路線延長: L=389m 駅前交通広場A=3,300㎡ 道路幅員: W=16m 車線数: 2車線 令和元年度は、用地再取得を実施 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
10	直接実施以外の主な支出先	業務の受注者				

Ⅲ. 投入量

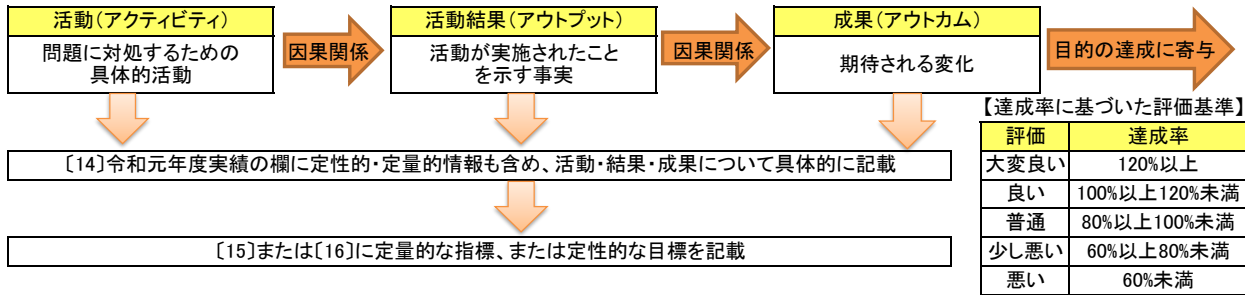
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	77,780	17,628	141,650	102,907	279,380	48,519	189,740	
主な事業費内訳	工事費	千円	30,800		88,000	38,111	108,000	0	92,000
	用地費	千円	42,000	12,154	50,000	63,146	129,600	46,243	50,300
	委託費他	千円	4,980	5,474	3,650	1,650	4,180	1,960	47,440
	財源内訳	千円							
財源内訳	国・府支出金	千円	39,600	6,600	67,920	49,057	137,400	23,070	93,650
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円	29,100	4,800	59,800	45,600	126,900	20,700	84,000
その他( )	千円								
一般財源	千円	9,080	6,228	13,930	8,250	15,080	4,749	12,090	
12 人件費 (b)	千円	6,846	6,846	9,306	9,046	8,726	8,726	8,571	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	84,626	24,474	150,956	111,953	288,106	57,245	198,311	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	新家日置荘線(延伸)	シート番号	019-046
-------	------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)

#### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	平成12年度から着手している新家日置荘線事業について、令和元年度は用地再取得を実施し、供用開始に向けた関係機関協議を行い事業を推進した。 14 [事業進捗] (用地取得状況) ○用地再取得を実施した。 ・用地取得率: 97.1%							
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		用地買収率	%	目標値	/	/	100	100
				実績値	/	/	98	/
				達成率	/	/	98%	/
	評価			/	/	普通	/	
	算出方法・設定根拠など		用地買収率=買収面積/買収予定面積(事業用地)、本指標は令和元年度から開始					
	16	定性的な目標		/	/	/	/	
		道路工事の実施		/	/	/	/	
		目標に対する実績		道路築造工事を実施し、令和3年度に事業完了予定。				

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	用地買収面積	㎡	/	/	0
	②	上記①にかかる年間経費	千円	/	/	0
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	/	/	/
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	○土地所有者との協議を進め、用地測量を計画的に実施した。

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	新家日置荘線(延伸)	シート番号	019-046
-------	------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。また、本路線は事業に着手しており、都市計画道路整備プログラムにおいて引き続き事業を推進する路線の一つとして位置付けられており、令和3年度に事業の完了を予定している。本事業は市域全体の結びつきや広域的な連携を強化することで、道路ネットワークを通して市域全体の活性化を図ることができ、事業が終盤を迎える現時点での廃止は不可能である。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。また、本路線は事業に着手しており、都市計画道路整備プログラムにおいて引き続き事業を推進する路線の一つとして位置付けられており、令和3年度に事業の完了を予定している。本事業は市域全体の結びつきや広域的な連携を強化することで、道路ネットワークを通して市域全体の活性化を図ることができ、事業が終盤を迎える現時点での廃止は不可能である。	<b>休止の場合の再開時期</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。また、本路線は事業に着手しており、都市計画道路整備プログラムにおいて引き続き事業を推進する路線の一つとして位置付けられており、令和3年度に事業の完了を予定している。本事業は市域全体の結びつきや広域的な連携を強化することで、道路ネットワークを通して市域全体の活性化を図ることができ、事業が終盤を迎える現時点での廃止は不可能である。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (自転車環境整備課) 関連事業名 (自転車通行環境整備事業) ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他( )	<b>理由・説明</b> ③他部と密に連携し、自転車レーン整備のタイミングにあわせることで経費の節減を図っている。 ④財源に国交省からの交付金を充当している。 ⑤都市計画道路整備プログラムに基づき整備しており、サービス水準は同程度である。	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
	所見	残る用地交渉を鋭意推進し早期取得に努めるとともに、効率的に工事を実施し、早期供用を目指す。			